

学校だより



《めざす子ども像》
進んで考え、自ら学ぶ子ども
心豊かで思いやりのある子ども
ねばり強くがんばる子ども

令和3年6月26日(土) No.12

校長：須藤 美香 Tel：0880-24-0006

6月の生活目標：校舎内での過ごし方を考えよう

防災の取組・1

6月17日(木)18日(金)は5年生が、防災キャンプをしました。総合的な学習の時間として、2日間防災について向き合い、学び、考え、今後どうしていきたいか、しっかり自分事として学習することができました。

1日目は、危機管理課の芝野さん、中野さんにきていただき、防災倉庫を見せてもらい備品について学んだり、水消火器で消火訓練をしたりと、実践も組み入れた学習をしました。水消火器訓練中に、町の防災無線が聞こえた時には、全員がすぐダンゴムシのポーズを！その素早さに、日頃の訓練の成果を感じました。

午後は、全校で起震車体験を行いました。昨年度までは各学年ごとに体験をしていましたが、今年度は、上級生が下級生のお世話をするこ



とも経験の一つと考え、1・3・6年生、2・4・5年生と時間を分け、それぞれ、説明を聞いた後、縦割り班で起震車に乗り体験をしました。南海トラフ地震では、震度7の揺れが予想されていますが、それに近い、震度6強の揺れの体験でした。すでにできているご家庭も多いかと思いますが、家具・家電の固定をしっかりとしておいてください。特に、寝室等寝る場所には、家具をなるべく置かない、または、必ず固定するなど夜の地震にも備えるようにしておきましょう。起震車体験の指導をしてくださった方から、「子どものヘルメットを玄関先でなく、寝室に置くといいです。」とアドバイスをいただきました。ぜひ、参考にさせていただきます。



下校時地震避難訓練

授業中、休み時間など学校内における様々な場面を想定しての訓練は毎年実施していますが、下校時の訓練は東又小学校で初めての取組です。①奈路・土居・道徳・平野地区②数神・藤ノ川・八千数・親ヶ内地区③本堂・与津地地区④弘見・飯ノ川地区⑤黒石・金上野・壱斗俵地区の5か所と志和・志和峰のスクールバスに分かれ、教職員も見守る中下校をしました。また、安全に下校できるよう、窪川警察署の皆様にもご協力をいただきました。

帰り道では、電柱やブロック塀など危険箇所を見つけたり、どこに避難したら安全かなどを確認したりしました。それぞれの地区の5・6年生がリーダーとなって道中を確認したり話をしたりしてくれました。遠くから自転車通学している子どもが多い学校です。下校途中、揺れが収まった後、どこに避難するかを必ずご家庭で確認をしておいてください。離れていても居場所がはっきりしていることで家族みんなが安心して避難することができます。「自分の身は自分で守る」ために大切なことです。



避難訓練のねらいを確認し、
上級生を先頭に下校です



下校を見守ってくださった彦川
警察署員さんです。



危険箇所を確認しながら下校中



志和地区もバスの中で訓練です。途
中、危ないところを確認しました



防災無線がなった後の行動で
す。自転車から離れて100
秒間ダンゴムシのポーズ！



次の訓練に生かすため、訓練後の
振り返りが大切です。



七夕飾りの笹を5年の池上さんが切
ってくださいました。早速1階玄関ホ
ールに設置しています。

みんなの願いがかなうよ
うたくさん飾りたいと思い
ます。

ありがとうございました。

